

2019年2月6日
第115号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

「3000万人署名を広げ、安倍9条改憲阻止」「沖縄のたたかいと連帯してたたかおう」「辺野古新基地建設をストップさせよう」と、全国各地でたたかいのうねりが広がっています。大阪での取り組みを紹介します。

● 大阪

「1・25環状線宣伝行動」労組は13駅頭で宣伝

安倍9条改悪に反対し、憲法がいかされる政治の実現を

1月25日に行われた、安倍9条改悪に反対し、憲法がいかされる政治の実現を求める1・25環状線宣伝行動には、232人が参加し、リーフ3,250枚、署名133筆が集まりました。環状線全19駅中、労働組合が責任をもって担当したのは13駅でした。国会開会日目前の大きな行動となりました。

偽造、ねつ造のオンパレードの安倍政権に退場してもらうために、引き続き「3000万人署名」を広げ、集めていきましょう。

高校生が署名し「がんばってください」と声援

大阪駅では、菅議長を先頭に、民放労連、郵政ユニオンの仲間と憲法会議事務局団体の仲間が、ヨドバシカメラ前で道行く人に訴えました。

桃谷駅では、大教組・大障教から「タクシーの運転手が窓を開けてビラを取りに来た。続けて後ろの座席の客も取ってくれた」「全盲の人が代筆お願いしますと署名してくれた」「高校生がビラを読んで『署名します。頑張ってください』と言ってくれた」と報告があり、さらに「高校生がよく話を聞いてくれた」とうれしい報告も。

大阪城駅では、自治労連・府職労と地域の共同センターの仲間と13人で宣伝。「ドイツ人が署名に協力してくれた」「若い人が多く、半分ぐらいがリーフ受けってくれた。また、リーフを読みながら行く人もいた」と報告。

大正駅では、JMITUと自交総連、大正区労連の仲間が元気よく宣伝を行いました。

天満駅では、大阪労連事務局と北区労連、建交労の仲間が宣伝。リーフの受け取りは良く、「変えなくていいのにな」と署名も集まったと報告。



福保労や国労、東南労連の仲間が奮闘した天王寺

